

令和5年4月26日

果樹病虫害発生予察調査員 様
関 係 農 家 様

NOSA I 新潟
新潟県農業共済組合
中越支所

果樹病虫害発生予察調査結果（4／25調査分）について

昨日実施した調査結果をお知らせいたします。

（共 通）

- ナシを中心に、凍害・霜害等による芽枯れや枝枯れが散見されています。特に枯れ枝は、**胴枯病**や**紅粒がんしゅ病**の伝染源となりますので、必ず園外へ持ち出して処分しましょう。
- 有効積算温度によるふ化盛期は、**クワコナカイガラムシ**の越冬卵で**5月7日頃**、**ウメシロカイガラムシ**の第1世代で**5月11日頃**、**クワシロカイガラムシ**の第1世代で**5月25日頃**です。今後の気象条件により発生が早まる可能性もありますので、早めの防除を心がけてください。
- フェロモントラップによる**ナシヒメシンクイ**の誘殺数では、越冬世代のピークが昨年より早まっています。第1世代幼虫の防除時期は**4月下旬～5月中旬**と予測されますので、丁寧な防除に努めましょう。

（ナ シ）

調査地点ごとに200果葉そうを調査しました。

- 一部で、**黒星病**芽基部病斑が確認されました。開花期以降の降雨で感染リスクが高まります。昨年多発した園地や湿気の多い園地は特に注意が必要です。通風の改善等にも留意しましょう。
- 一部で、**セイヨウナシ褐色斑点病**の病斑が確認されました。発病葉を確認したら摘み取り、園外で処分しましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに100花および100葉そうを調査しました。

- 一部で、縮葉病発病葉が確認されました。花腐れ症状（灰星病）は確認されませんでした。開花期に降雨もあったことから、発病花を確認したら摘み取り、園外で処分しましょう。
- 一部で、せん孔細菌病春型枝病斑が確認されました。風雨により拡散しますので、発病枝は切除し園外で処分しましょう。また、樹の上部は見えづらいですが、発病枝を丁寧に確認しましょう。
- モモハモグリガは、フェロモントラップ調査による誘殺は確認されていませんが、近年では5月上旬頃より食害痕が確認されています。本年は生育が早いことから、食害痕を丁寧に確認し、早めの防除を心がけましょう。

※ 薬剤防除は防除暦の散布時期ではなく、生育にあわせた対応をお願いします。

◇ 次回調査は5月10日（水）です。

担当　：中越支所　果樹共済係 TEL：0258-36-8105 FAX：0258-34-8020
--